

令和 5 年度の旭川市役所の事務事業による温室効果ガス総排出量について

旭川市環境部

1 旭川市の事務事業により発生した温室効果ガス総排出量

- 令和 5 年度の温室効果ガス総排出量は、93,025.7 t-CO₂となり、前年度比-2.2%となりました。

(単位 t-CO₂)

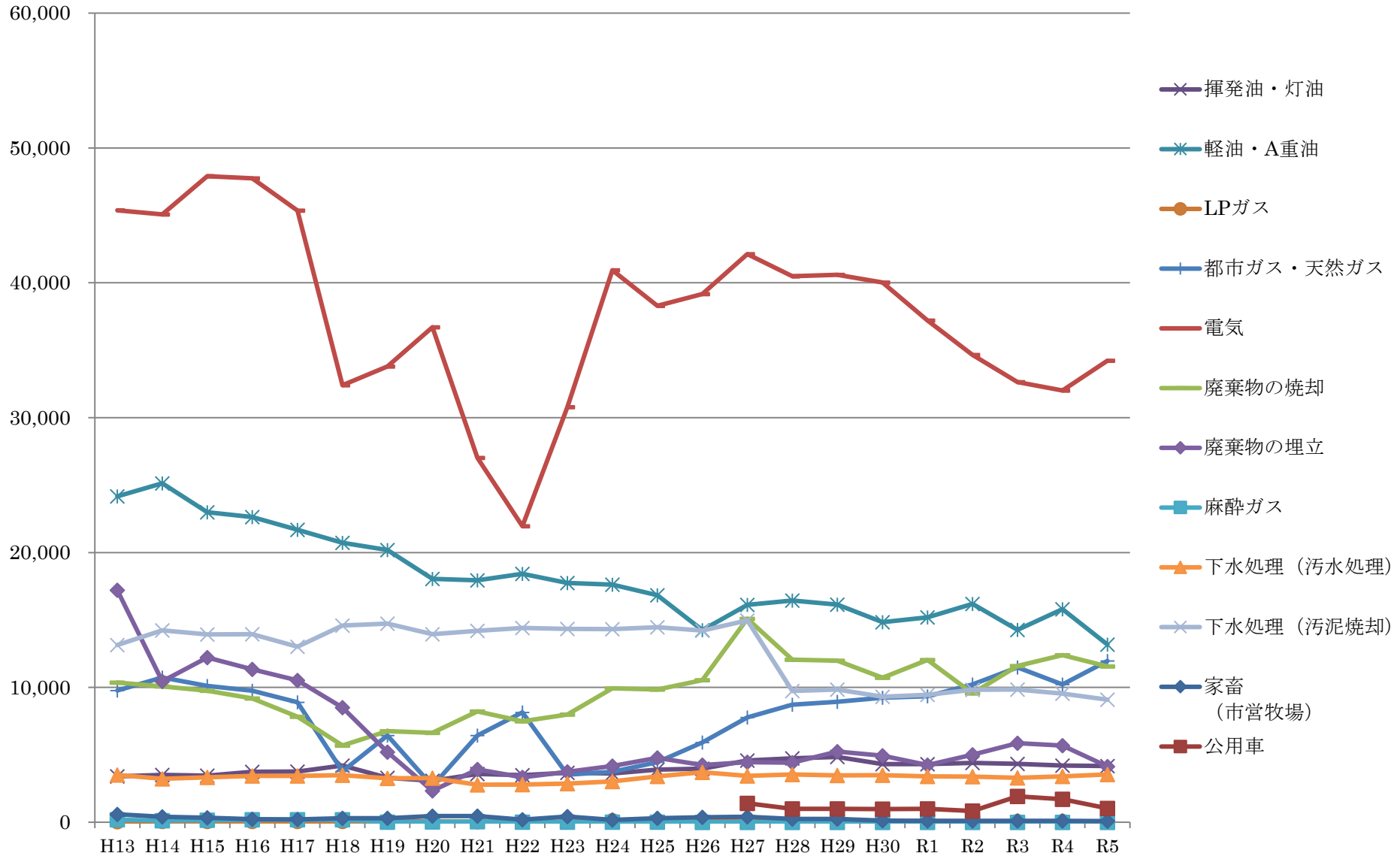
	令和 5 年度	令和 4 年度
揮発油・灯油	4,173.0	4,202.7
軽油・A 重油	13,173.6	15,804.0
LP ガス	68.8	67.9
都市ガス・天然ガス	11,960.8	10,220.9
電気	34,218.9	32,013.3
廃棄物の焼却	11,552.7	12,387.7
廃棄物の埋立	4,129.9	5,683.5
麻酔ガス	0.0	0.0
下水処理（污水处理）	3,545.3	3,404.7
下水処理（污泥焼却）	9,088.7	9,528.6
家畜（市営牧場）	81.2	98.2
公用車	1,032.8	1,710.5
合計	93,025.7	95,122.0
前年度比	-2.2%	—

2 主な増減要素と分析

- 主な減少項目は、A 重油、廃棄物の埋立、下水処理（污泥焼却）です。使用量の減少、廃棄物処分場に搬入された廃棄物量の減少等により、温室効果ガス排出量が減少しました。
- 主な増加項目は、都市ガス、電気です。使用量の増加等により、温室効果ガス排出量が増加しました。
- 前年度と比較し温室効果ガス排出量は 2,096.3t-CO₂の減少となりました。

温室効果ガス排出量推移（排出源種別）

t-CO₂



温室効果ガス排出量推移

t-CO₂

